

「混戦のシーズンに決着！」



気分はクリスマス♪ かわいいサンタが応援

2013K 耐久/GT 耐久東海シリーズの今シーズン最終戦は、今季最高の29台の参加者を集め、愛知県蒲郡市のスパ西浦モーターパークで開催された。

晩秋の蒲郡地方は小春日和となり、今シーズンの決戦を迎えるにあたって最高の天気となった。

「1+2C」クラス(1500cc および特認 1600cc 以下のNA車と、1200cc 以下の過給機付き車のクローズドクラス)

VTI シビックが主力となっているこのクラス、驚異的速さの#88「菱木レーシングシビック」を中心に CVT ながら MT 車に匹敵する#77「トータルセブン CVT シビック」などに注目、久々出場の#43「東海 YEG 自動車倶楽部シティ」など7台がエントリー。

■予選

予選で1番時計をたたき出したのは、予想通り#88「菱木レーシングシビック」1'03.877と驚異の3秒台突入。予選前に関係者が「3秒台入れますよ」の宣言通りの見事な速さ。2位は#70「トータルセブン GT シビック」1'06.796で続き、3番手には#52「MSCJ 奈良ロードスター」が1'07.277で付ける。

以下4番手#92「ワンナイヴィッツ」1'08.948、#77「トータルセブン CVT シビック」が1'09.662で5番手、6番手は#107「トータルセブンロードスター」1'11.756、7番手は#43「東海 YEG 自動車倶楽部シティ」というグリッドでグリッドが決定。

■序盤

序盤から#88「菱木レーシングシビック」の一人旅、上のクラスに交じって周回数を重ねていく。2位争いもやはりシビック勢、MTの#70「トータルセブン GT シビック」と#77「トータルセブン CVT シビック」が続き、#92「ワンナイヴィッツ」、#52「MSCJ 奈良ロードスター」、#43「東海 YEG 自動車倶楽部シティ」、#107「トータルセブンロードスター」の順でついていく。

■中盤

中盤でも#88「菱木レーシングシビック」のペースは衰えず、一時は全体のラップリーダーを記録するなどクラスを超えた速さを見せる。一方2位争いは混とん#70「トータルセブン GT シビック」にはタイトルのチャンスがあり、トップに何かあれば栄冠を手にすることができる。優勝経験のある#92「ワンナイヴィッツ」も今季は少ないヴィッツで孤軍奮闘。久しぶりの出場だった#43「東海 YEG 自動車倶楽部シティ」だが、トラブルから52Lapでリタイヤとなってしまった。

1時間半過ぎでの各車の周回数は以下の通り。

#88「菱木レーシングシビック」75Lap、#70「トータルセブン GT シビック」67Lap、#92「ワンナイヴィッツ」66Lap、#77「トータルセブン CVT シビック」63Lap、#52「MSCJ 奈良ロードスター」63Lap、#107「トータルセブンロードスター」63Lap。



他を寄せ付けない速さ！ 予選3秒台 #88



こちらはしぶとさで勝負 #70



CVTの素晴らしい速さも印象的 #77



孤軍奮闘 シリーズ3位は立派！ #92

Race Report

GT-CAR PRODUCE

■終盤

終盤にかけても一人旅を続ける#88「菱木レーシングシビック」。全体でもトップ10圏内をキープし、お兄さんシビックたちとランデブー走行。むしろコーナーリングでは速いとも見受けられる。2位争いからは#70「トータルセブン GT シビック」が抜け出してきたようだ、3位は#77「トータルセブン CVT シビック」でシビックのワンツースリー体制。

#92「ワンナイヴィッツ」は少々分が悪いが現在4位、最後の逆転にかける。5位は#52「MSCJ 奈良ロードスター」、6位#107「トータルセブンロードスター」。

■最終結果

優勝は#88「菱木レーシングシビック」最後までトップを譲らぬ完勝。第2位は#70「トータルセブンシビック GT」、3位は#77「トータルセブン CVT シビック」とシビック 1500 勢が今回も表彰台を独占。

4位#92「ワンナイヴィッツ」、5位#107「トータルセブンロードスター」、6位#52「MSCJ 奈良ロードスター」という最終結果。

■総評

今年のこのクラスは 1500 シビック旋風が吹き荒れた。開幕から衝撃的な速さで驚かせ、途中 CVT 車の参戦でも驚かせた。結果年間タイトルもシビックのものとなった。本来のポテンシャルをフルに発揮した結果ともいえるが、スポーツ VTEC でなくてもここまでイケるとは・・・と思われたシーズンだった。

一方、ロードスターなどとの速さの差が見えてしまったことも事実。メーカーやプロのレースでないアマチュアのイベントではあまりにポテンシャルに開きがあるのも好ましいことではない。

来季以降の運営の反省にすると同時に、さらなる車種の参加が待ちどおしいというのが正直な意見である。



ロードスター対決を制した #107



秋の陽光にオープンが映える #52



久々出場も惜しくもリタイヤ #43

